

■形成外科・美容外科

1. 2021 年度の目標および方針

- 1) 手術内容を充実させ、より専門性のある手術の増加を図る。
2016 年度より継続している目標である。より専門性の高い形成外科的手術を増やし、手術内容を充実させていきたい。
- 2) 外来診療における自費診療の充実
例年どおりに行っている。安全性を第一としつつ、徐々に手技の幅を広げていきたい。

2. 2020 年度評価

- 1) 他科との連携
他科手術の再建症例は例年どおりの件数を行った。また難治性足潰瘍症例が増加し、糖尿病内科、循環器との連携治療を行う症例が増加している。
- 2) 後期研修医教育。
後期研修医への臨床教育を偏りのない症例で行った。

3. 形成外科の業務／スタッフ紹介

1) 業務内容

当科では、腫瘍、外傷、先天異常など皮膚および軟部・骨組織の形態・機能に影響する疾患の診療に当たっている。腫瘍では粉瘤や脂肪腫などの皮膚良性腫瘍から有棘細胞癌や悪性黒色腫などの皮膚悪性腫瘍、頭頸部腫瘍・軟部悪性腫瘍切除後の再建や乳房再建まで、外傷としては切創・挫創・熱傷・顔面骨骨折、さらにその後の瘢痕・瘢痕拘縮など、先天異常では唇顎口蓋裂や耳介変形、多指症、合指症、眼瞼下垂など、形成外科全般を扱っている。シミの治療などの美容医療に対しても診療を行っている。

外来診療は月・火・木・土曜日午前、外来手術を火・木曜日午後、入院手術を水・金曜日全日に主に行っている。

治療法として、局所皮弁術、植皮術、筋皮弁術、遊離皮弁術などの形成外科的手術手技や、局所陰圧閉鎖療法などを、症例に応じて施行している。

レーザー機器は、パルス幅可変式色素レーザー（Vbeam レーザー）、Q スイッチルビーレーザー、炭酸ガスレーザーを備えており、小児の血管腫や太田母斑などに対しては手術室での全身麻酔下のレーザー治療も施行できる体制を取っている。

また、病院の施設要件である院内褥瘡対策委員会に参加しており、月曜日午前に褥瘡専門外来を、午後に院内褥瘡往診（月 1 回は褥瘡対策委員とともに褥瘡回診）を行っている。

2) スタッフ

形成外科は 2020.4 月現在 4 人体制で診療している。

【常勤医】

田邊裕美 (部長) : 1992 年卒。日本形成外科学会専門医、日本熱傷学会専門医、日本創傷外科学会専門医。小児形成外科分野指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医、博士 (医学)、東京女子医科大学非

常勤講師、東京医科歯科大学医学部臨床教授。日本形成外科学会、日本熱傷学会、日本口蓋裂学会、日本創傷外科学会、日本頭蓋顎顔面外科学会所属。

美原留奈（部長代理）：2007年卒。日本形成外科学会専門医、皮膚腫瘍外科分野指導医、日本創傷外科学会専門医。本頭蓋顎顔面外科学会、日本創傷外科学会、日本マイクロサージャリー学会所属。

寺邑千尋（医員）：2014年卒。本形成外科学会専門医、日本形成外科学会所属

栗原美沙樹（医員）：2019年卒。日本形成外科学会所属

【非常勤医師】

南 宗敬：2015年卒。日本形成外科学会所属

4. 年間活動内容と実績（2020.1.1～12.31）

新患数：1406

手術件数：1241件（入院手術555件、件、外来手術686件）

内訳は以下の通り

- ・外傷 76
- ・先天異常 42
- ・腫瘍 740
- ・瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド 11
- ・褥瘡、難治性潰瘍 103
- ・美容外科（手術） 1
- ・その他（眼瞼下垂など）98
- ・レーザー治療 97

5. 教育／勉強会関係など

- 術前カンファランス 毎週火曜 夕方
- 口蓋裂カンファ 4～5ヶ月に1回開催
- 足カンファ 毎週火曜夕方 循環器内科と合同

2020年度は初期・後期研修医6名の研修を受け入れた。

<2020年度院内教育>

初期研修医対象講演会

- 研修医のための救急外来に役立つ縫合トレーニング
 - 講義 2019.4. 講師：田邊
 - 実習 2019.4. 指導：田邊、美原、寺邑、南

6. 学術関係

学会・研究会発表（口演）

美原留奈 ほか： 動脈再吻合後に全長狭窄を生じた遊離空腸移植の経験 第 12 回日本創傷外科学会

田邊裕美、ほか： 閉鎖床併用口蓋裂二段階手術における裂幅と言語評価について．第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会

南 宗敬 ほか： Marfan症候群に生じた感染性橈骨動脈瘤の1例．第30回東京医科歯科大学形成外科集談会 2020. 1. 11

論文

美原留奈、田邊裕美：遊離鼠径皮弁と電子線照射による前胸部ケロイドの治療経験．創傷11：20-23, 2020

文責：田邊裕美